



東京の会通信

No.305

2022年11月1日号
(隔月1日発行)

発行：骨髄バンクを支援する
東京の会
〒101-0031 東京都千代田区
東神田1-3-4 KTビル3階
TEL：03-3866-8171
(FAX兼用)



<http://www.marrow.or.jp/tokyo/>
e-mail:marrow_tokyo@yahoo.co.jp

定価 100円

「骨髄東京走り屋軍団」復活！

グリーンリボンランニングフェスティバル、3年振りに開催！ 42.195kmを、9人がタスキをつなぎ、応援団の大声援！

10月10日体育の日、早朝より弱い雨が降る中、世田谷区の駒澤オリンピック公園で3年振りとなる「2022グリーンリボンランニングフェスティバル」が開催されました。

グリーンリボンランニングフェスティバルは、臓器移植を受けた方をはじめ、障がいのある方も、一般の方も共に参加し走る喜びを分かち合うイベントです。イベントの中ほどではドナー（臓器を提供された方）への感謝の気持ちを込めて風船を飛ばすバルーンセレモニーが行われ、緑・青・白・赤の4色の風船が思いを乗せて空高く舞い上がりました。

今回の特別ゲストは、シドニー五輪金メダリストの高橋尚子さん（Qちゃん）です。セレモニーで元気に挨拶して参加者を元気付けてくれました。

そして全国骨髄バンク推進連絡協議会からは、チームで走る42.195kmリレーに3組がエントリーしました。東京の会メンバーは、3年前の「骨髄東京走り屋軍団」が復活してチームを結成、看護施設で働く若き女性も2名加わり（感想を書ってくれた高田さん・甲斐さん）、10名でエントリーしました。沿道での応援団も8名（初応援の介護施設の伊藤さんと東京の会美女軍団+二見さん）がコースの途中でプラカードを振って大声援を送りました。

直前に2名が健康上の都合で欠席となり、急ぎよ3



走り屋軍団9名雄姿



バルーンが青空高く飛ぶ

年前にも参加してくれた大下さんが加わってくれ、フルマラソンを何度も走っている大畑さん、この日のために鍛えている櫻井さんと若木さん、光江さん、石崎さんは前回から継続して参加、そしてアンカーは団長の松阪さん。9名でタスキをつなぎ完走することができました。高橋尚子さんは競技の始めから終わりまでずっとスタジアムの中で応援し、ランナーとハイタッチをして元気付けてくれました。そしてなんと我がチームの最終ランナーがゴールゲートをくぐるときに、走者全員と一緒に手をあげながらゴールしてくれました。

チームの記録は、4時間10分34秒、参加152チーム中145位の成績でしたが、最後までイベントを楽しむことができました。終了後は、応援団とランナーがお疲れ様の乾杯をして、久しぶりの屋外イベントを無事終了することができました。ランナーの皆さん、沿道で応援してくれた皆さん、お疲れ様でした。

参加走者の感想

◆中高時代は柔道部。そもそも走ることは大嫌いでしたが、不運にも悪性リンパ腫を患った母、白血病に侵された息子が辛い辛い抗癌剤治療に耐えているのを見



高橋尚子さん(左端)と一緒にゴール

て、自分も一番嫌いなことをしてみようと思ってジョグを始め、地元仲間を道連れに初めて駅伝競走に出たのが12年前。そういう意味で心はグリーンリボンの趣旨と一致しています。

今回自分にとっても久々のレース。ドキドキ・ワクワクのスタートでしたが、楽しむことだけを考えていました。沿道にいた東京の会の応援団が自分に気付かないので「おいおい、こっち!」、小さい子が真似をして横を走れば「おっ、競争しようか?」、係員に「頑張っ!」と声をかけられると「誰か代わって~!」。冗談と愛嬌を振りまきながらだと1周2.3kmもあっという間です。

自分は個人レースには出ず、駅伝やリレー専門ですが、みんなで走るのには本当に楽しい。タイムは誇れるものではありませんが、一緒に走った仲間への感謝感謝です。(東京の会 松阪一紀さん)

◆今回、骨髄東京走り屋軍団として参加させて頂きました。

42.195kmは1人ではとても気が遠くなりそうな距離。みんなで力を合わせてタスキを繋ぐからこそ、完走を達成できたことと感じます。チームメンバーやコース脇からの声援はとても心強いものでした。

しんどい、歩いてしまいたい。そう思う瞬間もありました。おそらく自分1人であれば、少し止まり休んでしまっていたかもしれません。しんどい時こそ、仲間や人々からの温かな応援の声は、自分の背中を押してくれる魔法のパワーがあると、リレーを通して実感しました!

自分もそんな魔法のパワーを人に与えていける存在でありたいと思いました。参加させて頂き、本当にありがとうございました。(甲斐史香さん)

◆初めてグリーンリボンランニングフェスティバルに参加して、臓器移植を受けた方や障害のある方、一般の方、それぞれの方が走り抜きタスキを繋ぐことに感

動しました。最初の風船をランナー全員が飛ばすのにも意味があり、感謝の気持ちも込めていると実感しました。

9人全員でタスキを繋げて走るのには最初緊張と不安がありましたが、走っている中、応援団の皆様にとっても励まして頂き完走することができました。本当にチームの温かみをすごく感じました。また色んな方が走っており、障害がある方も同伴者の方がいたり一生懸命に走っているのを見てより私自身ももっと看護を頑張ろうと感じました。

最後にアンカーの方と走ってみんなでゴールしチームの協力性をすごく感じ達成感も溢れ、良い思い出となりました。

今回お誘いいただき沢山のことを学ばせていただき今後の看護にも活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。(高田萌さん)

◆この度、骨髄東京走り屋軍団応援団員として参加する機会をいただきありがとうございます。皆さんかなり本気の走りでしたので応援にも熱が入りましたが、走ります!と最初に申し出たことは後悔しました(笑)。また機会があれば是非参加させていただきたいので 帰宅し早速ランニングをしてみましたはまだまだ5kmは厳しそうです(笑)

私事ですが、もう何十年も前ですが小児がん看護を志し骨髄移植に携わってきました。当時は思い出しながら時を経てこのような形で関わらせていただけること、そして暖かく迎えて下さった東京の会の皆様本当に感謝いたします。皆様の活動はたくさんの方の力になっています。引き続き、東京の会応援団員として応援しております。(伊藤 弘美さん)

◆先日、地元の友人からLINEがあり「【緊急】10/10(祝)にグリーンリボンマラソンに1人欠場者が出たので代わりに走れますか?」との内容。以前にも参加していたことから、懐かしさもあり快諾!

実はこの友人、私がドナー登録をするきっかけと



応援美女軍団

患者家族電話相談
白血病フリーダイヤル

や ま い こ く ふ く
0120-81-5929
毎週土曜日10:00~16:00

※第2・4土曜日は血液専門
医も相談に応じます。
※医師に言えない悩み事など
もどうぞ。

なった人。ご子を白血病で亡くされ、時間が許せば骨髄バンクの周知活動をしている姿に心打たれました！今回、私の参加が何らかのお役に立てればと思いますレースに参加することに。されど最近在宅勤務で蓄積されたプルプルのお腹。1周2.3kmを走れるか脂肪と相談しながらも、沿道の応援に励まされ骨髄バンクのタスキを繋ぐことが出来きてホッとしました。

レース後は懇親会にも参加させていただき、皆さんとお話し出来たこと大変嬉しかったです。これからもドナー登録者数が増え、一人でも多くの方が辛い治療から解放される様、この活動を応援し続けたいと思います。
(大下孝浩さん)



完走後全員で記念写真

今年も代々木公園に雪が降ります！ 恒例の東京雪まつり2022、献血バスでドナー登録！

スノーバンク（東京雪まつり）は、2011年から続いている秋の恒例イベントです。代々木公園に雪を降らせ、大きなゲレンデを作り、そこでプロスノーボーダーが日頃の技を競います。アマチュアボーダーもプロに負けずに技を披露します。競技の合間には、ちびっ子たちが東京のど真ん中でソリでゲレンデを滑り降ります。ステージではミュージシャンたちが歌や踊り、演奏を繰り広げます。

骨髄移植経験者のスノーボーダー荒井daze善正さんが、骨髄バンクと献血を広くアピールするために始めたこのイベント、昨年は2日間で、献血者402名、骨髄ドナー登録121名と驚くべき成果となりました。今年も献血バス4台を配置し、目標／献血333名、ドナー登録111名として実施されます。東京の会からも説明員やボランティアが当日会場で活動します。「呑む前に取る！」皆さん会場に足を運んでご協力ください！

11月12日(土)～13日(日)
代々木公園イベントB地区
献血・ドナー登録は9:30～16:00まで
献血バス4台で受け付けます。



代々木公園でスノボが滑走

日本骨髄バンクの登録患者と検査済登録ドナー (令和4年9月末日現在)

	ドナー(全国)	ドナー(東京)	患者(全国)
登録者累計	541,220	69,226	65,116
8-9月登録分	5,684	765	389
8-9月抹消数	4,326	517	—
実質登録増	1,358	248	—

患者とドナー登録・適合状況(9月末日現在)

ドナー登録受付者数(累計) 904,785人
ドナー登録抹消者数(累計) 363,565人
HLA適合報告ドナー数(累計) 361,590人
実質登録患者実数(現在) 1,679人(国内1,206人)
HLA適合患者数(累計) 51,839人(患者累計数の79.6%)
非血縁移植実施数 27,047例(8-9月実施174例)

東京の会 「11月、12月定例会」 のお知らせ

11月19日(土)午後5時30分より
12月17日(土)午後12時30分より(終了後13:30より昼食忘年会を開催予定)

定例会の開催については新型コロナウィルスの感染拡大状況を考慮し、オンライン開催も取り入れて臨機応変に対応して参ります。

会場：こくみん共済coop東京会館
(旧：全労済東京会館)3階会議室
※JR新宿駅西口下車7分(新宿区西新宿7-20-8)
※地下鉄丸の内線西新宿駅下車1番出口徒歩2分
青梅街道新宿警察署向かい・「キャン☆ドウ」角入り右側

※2023年1月定例会予定・1月21日(土)午後5時30分より

ドナーが見つからない患者さんがまだいらっしやいます あなたの暖かなご協力が、小さな命をつなぎます。

東京の会のホームページに1通のメールが入りました。骨髄移植を必要としている川西歩実ちゃん（8歳、小2）のお父さんからのメッセージでした。

骨髄バンクに患者登録するも適合者が見つからず、骨髄バンクのドナーを増やすためにお住まいの千葉県で献血会場でのドナー登録を積極的に呼び掛けています。東京の会のメンバーでも何か協力できることはないかと相談しました。そこで会報「東京の会通信」にお父さんからの手記を掲載する事、会報にドナー登録を呼び掛けるチラシを同封する事、スノーバンクなどのイベントでチラシを配布してドナーを募る事、など微力ながらお手伝いしようと結論しました。

歩実ちゃんや、ドナーを待つ多くの患者さんのために、皆さんもチラシの配布やSNSでの呼びかけなどご協力をよろしくお願ひいたします。

川西傑司さんより皆様へ

川西歩実（かわにしあゆみ）8歳、小学2年生。小学校に入学式して間もない頃、耳の聞こえが悪い事に気付いて病院に受診し、難聴である事が判明しました。以前風邪をこじらせた際、採血結果が悪かった事（血小板減少）もあり、専門病院を紹介して頂きました。

当初は難聴で受診したものの、血液異常の事もあり同血液腫瘍内科を受診、そこで血液が形成されない病気がと診断を受けました。娘の診断結果は再生不良性貧血及び骨髄異形成症候群と判明し、骨髄移植しかないと言われております。

残念ながら家族、親戚そして日本骨髄バンク登録にも適合者がいない



まま、闘病生活が3ヶ月を経過してしまい、命の期限が迫っております。骨髄バンクの登録数を増やす事で、娘との適合者が現れる事を今も信じております。

娘の命を全力で守りたい、元氣な笑顔をもう一度。私は娘を愛し、家族を愛しております。

家族全員を揃って写真に納めたい。もう一度、普通の生活をしたい……。

家族にもう一度、元の生活をとり戻すチャンスを私達に頂けないでしょうか。

私達はギリギリまでドナー適合者を待ち続けます。どうか皆様、ご協力のほど宜しくお願いします。



大活躍してくれた「紙折り機」限界となりました



初仕事を見守るマリンロータリーの故毛塚さん（左から2番目）

東京の会通信を発送する「おりおり」は、20年前は手作業で会報を三つ折りして封入していたため1,000通出すのに午前中から午後までかかって作業をしていました。それを

見かねて、東京マリンロータリークラブ（現・東京港南マリンロータリークラブ）の皆さんが2003年7月、紙折り機を寄贈してくれました。当時の最新型紙折り機のおかげで、作業時間が4時間から2時間に短縮されました。それから20年間、老体にムチ打って活躍し続けてくれた紙折り機ですが、とうとう修理用の部品がなくなり、今年の7月に役目を終えて引退する



初めての紙折り機にみんな興味津々

こととなりました。改めてロータリークラブの皆さんに感謝申し上げます。幸い同居している全国協議会で紙折り機の新機種を購入して東京の会でも使用できることとなりました。東京の会は、このような関係団体からの寄贈や、皆様から贈られる毎月の寄付など、多くの温かい応援の力により支えられています。皆様のご協力で感謝いたします！

チャリティーコンサート響 チケット絶賛発売中です

秋の恒例行事、東京の会主催のピアノ三重奏チャリティーコンサート「響」が3年ぶりに「求道会館」に戻ってきます。今年はショパン、サラサーテ、ベートーヴェンのピアノ三重奏をお届けします。求道会館はヨーロッパの教会と日本の寺社建築の様式が融合した仏教の説教場で大正時代に建てられ平成14年に修理復元した歴史的建造物です。良好な音響特性をもつホールでのクラシック音楽を鑑賞できますので、ぜひお越しください。10月19日時点で37名の申込を頂いております。まだ、余裕がありますのでご家族、お友達を誘ってご参加ください。

日 時：2022年11月23日（水祝）15:00 開演
場 所：「求道会館」（文京区本郷）
南北線「東大前」駅徒歩5分 丸の内線・大江戸線「本郷三丁目」駅徒歩15分
出 演：三戸素子（ヴァイオリン）・小澤洋介（チェロ）・高田匡隆（ピアノ）
演奏曲：ショパン：ノクターン48-1
サン＝サーンス：白鳥
サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン
ベートーヴェン：ピアノ三重奏 第7番 変ロ長調「大公」作品97
入場料：3,000円

- ◆お申し込みは、メールアドレス「marrow_tokyo@yahoo.co.jp」宛に、件名を「コンサート申し込み」として本文に「お名前」「電話番号」「希望人数」をご記入の上、お申し込みください。
- ◆メールでの申込み確認後、「受付確認済」のメールを返信します。（返信までしばらく時間がかかる場合がありますのでご了承ください）
- ◆当日、入口受付にて、代金をお支払いください。つり銭の無いようご用意ください。
- ◆キャンセルの場合は、事前に必ずメールでお知らせください。
- ◆コロナ対策で座席数を制限して開催します。ご希望の方はお早めにお申込み下さい。



久し振りに生の演奏が聴けます

お正月の恒例行事「箱根駅伝」 残念ながら今回も応援自粛です

第99回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）の予選会が10月15日に行なわれ、立川市の陸上自衛隊立川駐屯地から国営昭和記念公園までのコースで、本大会に出場できる10枠を巡って熱戦が繰り広げられました。

毎年1月2日と3日の箱根駅伝当日には、東京の会や近隣のボランティア団体、プルデンシャル生命の社員さんたちが、骨髄バンクののぼりをもって沿道で応援していました。しかしながら、コロナ禍で2021年からののぼりを持つての応援を自粛せざるを得なくなり、来年1月の箱根駅伝についても残念ながら活動中止となりました。

移植を待つ患者さんはお正月も病室から出ることができません。そんな患者さんに箱根駅伝のテレビ中継で「骨髄バンクを応援します」というのぼりを見てもらって、ひとりで闘っているのではないことを伝えた



い、そんな思いを込めて2002年から続けてきた活動が、3年間途絶えてしまうことは残念な限りです。

2023年の記念すべき第100回大会では、ぜひ沿道での応援を復活させ、骨髄バンクののぼりがはたためく光景を患者さんに見せたいと切に願います。

編集者 雑記



▼今年も健康保険組合連合会から高額レセプト上位の概要が発表されました。東京の会通信No.299(2021.11)編集者雑記で2020年度の状況を報告しましたが、2021年度は1か月の医療費が1,000万円以上の件数がさらに152件増加し(対前年度比11%増)1,517件で過去最多となりました。「ゾルゲンスマ」や「キムリア」「プレランジ」など、有効性が高く評価された画期的新薬が保険適用され使用が増え、薬価が1,000万円以上の薬の使用が2019年比で3倍以上増えています。この高額医療費に加え、高齢者医療への支援金が健康保険財政を圧迫し、現役世代の医療費負担を増大しています。

▼健康保険組合連合会が10月に公表した今後の財政状況を見ると、連合会加盟の1,388健保組合のうち、經常収支が赤字となったのは740組合、健保組合全体の約53.3%、赤字総額は2,750億円となりました。業態別にみると2020年度に新型コロナウイルスの影響を受けた「繊維製品製造業」「飲食品小売業」「運輸業」「宿泊業・飲食サービス業」「生活関連サービス業・娯楽業」等はさらに状況が悪化しています。現役世代が負担している健康保険料のうち、実際に加入保険者の医療費として支払われる医療保険費は全体の50.2%、残りの

うち43.1%が高齢者医療への拠出金(うち後期高齢者支援金が23.8%、前期高齢者納付金が19.3%)となっています。

▼2025年には団塊の世代が75歳以上となり後期高齢者入りします。このままでは更なる医療費の増大が見込まれるため、2022年10月より後期高齢者医療の窓口負担割合が見直しされました。前述のとおり、後期高齢者の医療費のうち窓口自己負担を除いて約4割は現役世代の負担(支援金)となっており、今後も拡大していく見通しから、後期高齢者の窓口自己負担割合の見直しは現役世代の負担を抑え国民皆保険を未来につなぐための制度改定となります。

▼健保連では、後期高齢者の医療費負担割合を、全世代で1割から2割に改定するように要請を続けてきました。「全世代型対応の社会保障制度」を構築し国民皆保険制度を維持するためにも高齢者も一定の医療費負担が必要だと主張してきました。しかし実際には、後期高齢者のうち一定以上の所得がある方に限り窓口負担を1割から2割に負担増する制度改定となり、対象は全体の約20%となりました。若干の改善はされますが、まだこの程度では現役世代の負担増を引き留めることは到底できません。企業の健保組合が保険料の引き上げなどで維持できず、厳しい財政状況の結果やむなく解散せざるを得ない状況も出てきています。現役世代が納得して支えていける医療保険制度の構築を実現してほしいものです。(A)

心のこもったご寄付ありがとうございました。(2022.8.16~10.15)

櫻井洋子さん 5,000円 / 山崎治夫さん 7,000円 / 宮坂祐輔さん 7,000円

お寄せいただいたご寄付のうち、会費未納の会員からは会費(年3,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

〈募金箱〉

「新東京自動車教習所」様 1,463円 / 「大庄水産三鷹店」様 2,500円

1月会報発送

「おりおり」のお知らせ

日時：2023年1月8日(日) 14時00分より

※発送作業は会報が発行される奇数月のみとなります。

※最新情報を東京の会ホームページ等でご確認の上、お越しください。

場所：全国協議会事務所(千代田区東神田1-3-4 KTビル3階)

交通：都営新宿線「馬喰横山」駅 徒歩5分

都営浅草線「東日本橋」駅 徒歩7分

東京メトロ日比谷線「小伝馬町」駅 徒歩7分

JR総武快速線「馬喰町」駅 徒歩5分

※3月「おりおり」予定 2023年3月5日(日) 14時より

※今お読みになっている「東京の会通信」を約500部折って封入し発送します。どなたでもご参加いただけますが、必ずマスク着用の上、患者さんや元患者さん、持病のある方やご年配者など、感染リスクの高い方はご無理のないようお願い致します。なお、状況により発送作業を中止する場合は、メーリングリストやホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

ボランティアの運動にも資金が必要です。東京の会に活動資金のカンパを!

郵便振替口座番号 **00100-1-555195**

他銀行から振込みの場合 ゆうちょ銀行(9900) / 〇一八支店(018) 普通口座No.4180512

加入者名義 **骨髄バンクを支援する東京の会**